

きんかん 五郎の

きんかんのほちやつ

いんのか外かう見ると うめくらの大き

きんかん

私を知つていゝ きんがいは こんより

ずつと小ぶ

私と手うに きんかんのおがみり

ちうつとEニとが 小つぶでおいしかう

ぶんか 林の上に ちうつとEで おいしいのだと

思つていた

ちう 何年かあつた

カタ口が 見取時 昔のあつたを 思い出

あつたニと

昔は べたニとが あり 少すれが たいの

あつたの つか物 あり じやくする

あつたを 使つて

これとあつた 一度おが

いやくした あつたおが

とりあつた 目のあつた きんかんの

のふたをとり

